

研修 評価

研修名	小論文・レポート・報告書の書き方				
領 域	組織的役割遂行能力を 高める研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	ラダーレベルⅢ～Ⅴ 募集数(60人)応募数(51人)参加数(50人)会員数(50人)非会員数(0人)				
日 時	令和 5年 5月15日(月曜日) 10:00 ~16:00				
ねらい(目標)	臨床現場での小論文・レポート・報告書を指導するにあたり、支援者が修得すべき指導のポイントについて学ぶ。				
講 師	水戸 美津子				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くための心得 ・小論文の読み方 ・書き方の基本 ・文献の活用と書き方 ・後輩への指導のポイント <p>○研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義、演習 				
結果・評価 (受講者の意見感想)	<p>○評価方法：アンケート アンケート回収率 60%</p> <p>○自己課題の達成度：達成できた、ほぼ達成できたを合わせると 96.7%であった</p> <p>○受講者の満足度：満足できた、ほぼ満足できたを合わせると 100%であった</p> <p>○受講者の理解度：理解できた、ほぼ理解できたを合わせると 100%であった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことと書くことは表裏一体だと知ることができ、自分のできることから始めていきたい。とても分かりやすかった。 ・小論文やレポートの書き方だけでなく、思考をポジティブに変えることが大切であることなど元気をもらった。 ・どう書いていいかわからない未完成のレポートを添削され、書き方を学ぶ前に自信をなくした。演習の情報を事前に知らせてほしかった。 				
企画の評価	<p>○目標・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の達成度 96.7%、理解度は 100%であり目標は達成できたと考える。 <p>○プログラムの妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整合性、満足度ともに 100%でありプログラムは妥当であった。 <p>○事前準備・当日の運営など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・午前、午後とも休憩なしで講義が続いたことが辛かったという意見があった。講師とタイムスケジュールの打ち合わせが必要。 				
担当者	教育委員				